

おだがいさま

odagaisama

102号
令和4年
10月1日発行

その達成感が次への一步

就労準備支援事業「したくホーム」では、就労を目標としてさまざまな活動を行っています。この夏（8月4日）も、鶴岡舟番所さんが毎年行っている内川の藻刈り作業に参加しました。



まちづくりはここから！地域支え合いプラン

「地域支え合いプラン」をもとに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域づくりのため、各地域で様々な取組が行われています。今回は大泉地区、上郷地区、加茂地区、第六学区での取組の内容をご紹介します。

大泉地区

地区の特徴 15の自治会で構成される農業が盛んな地域。高速道路のインターチェンジもあり、郊外地として利便性も良い。
人口 2,428人 世帯数695世帯

(令和4年3月現在)

プラン① 日頃の声かけ見守りを！

・地域の防災力を向上させ、安心して暮らせる地域を目指す

プラン② 身近な集まりの機会を！

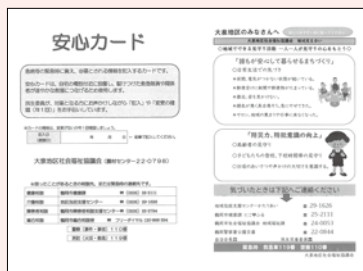
・地域で集まる機会を確保し、元気に暮らせる地域を目指す

地域の見守り・気づきを醸成したい

地域住民の防災意識を育み、住民同士が互いのつながりを意識することで、安心して暮らせる地域をつくるための活動を行っています。

その中で、普段の暮らしの中で自然な見守り活動ができるよう、見守り啓発チラシを全戸配布しました。チラシは一人一人ができる見守り活動のきっかけづくりとして、地域の中の困りごとなどへの「気づき」を啓発する内容となっています。

また、救急搬送時等に活用する「あんしん見守りカード」を一人暮らし高齢者等を対象に設置し、自治会や民生児童委員などの協力の下、日頃の声かけなど見守り活動を推進しています。



大泉地区 安心カード

身近な集まりの場をつくる

いつまでも地域で元気に暮らすことを目的に、お茶のみサロンやいきいき百歳体操など、地域の身近な集まりの場ができるよう働きかけています。

そのために、地域包括支援センターかたりあい等の協力の下、心と身体の健康づくりとともに、介護予防や介護保険について学ぶ健康教室等の開催を継続的に行っています。



集まりの場で心と体の健康づくりを

上郷地区

地区の特徴 15の自治会で構成される。熊野長峰や荒倉山をはじめとした山々と田園地帯が広がり、自然環境に恵まれた地域。
人口 2,020人 世帯数683世帯

(令和4年3月現在)

プラン① 上郷にりんそうカフェの開催

・カフェに地域役員と福祉専門職を配置し、住民が抱える日常生活上の悩みごとや困りごとに対応できる相談体制を整える

プラン② 上郷子どもの福祉学習事業

・小学校、保育園と連携し福祉学習や福祉体験を開催する
・小学校や保育園に通う子どもを持つ保護者に対し、福祉への理解の促進を図る(児童・保護者レクリエーション、取組みの周知活動など)
・上郷たいようの会(会食交流会)において世代間交流を実施する

地域の相談窓口「上郷にりんそうカフェ」

地区で実施した高齢者実態調査アンケートの結果をもとに、令和元年度から「上郷にりんそうカフェ」を始めました。地域の方が誰でも参加することが集いの場です。カフェには地域役員と市健康課・地域包括センターかたりあい・市社協の職員も参加しているため、日常生活で抱える悩みごとや困りごとなどを気軽に相談できます。

コミセンを会場に予定していましたが、ここ二年はコロナ禍もあり、自治会に直接出向きカフェを開催してきました。

今後も地域の方により多く参加してもらえよう、カフェに合わせて介護に関する講話などを企画しています。地域の憩いの場、地域の身近な相談窓口となるよう取り組みを続けていきます。



中山自治会でのにりんそうカフェ

福祉意識が広がる地域を目指して

上郷小学校の四年生、六年生を対象に、障がい者理解・高齢者理解をテーマとした福祉学習を実施しています。また、上郷たいようの会(会食交流会)では、地域の高齢者と上郷小学校児童が交流する世代間交流事業も実施しています。

地域の児童やその保護者を通じて福祉意識が広がり、地域全体に「支え合いの意識」と「日常のつながり」が根付くよう事業を推進しています。



上郷たいようの会での世代間交流

加茂地区

地区の特徴 港町として栄え、令和元年5月に北前船の寄港地として日本遺産の追加認定を受けた。レインボービーチや加茂水族館など観光資源に富んでいる。

人口 974人 世帯数 434世帯
(令和4年3月現在)

プラン① 高齢者、一人暮らし世帯の避難ネットワークづくり

- ・災害時における要援護者の避難支援や避難誘導を安全に行える体制づくり
- ・防災マップと避難経路の比較による危険箇所の確認、新たな避難経路マップの作成

プラン② 配食サービスの見直し

- ・配食サービスを通じた見守り活動強化
- ・日中独居や夜間家族が不在となる等、地域での見守りを要する方への配食検討と見守り対応



災害対応にむけたワークショップ

地区社協委員と町内会長、住民会長、自主防災会役員、また、加茂地域ビジョンを策定した活動をしている環境チームのメンバーなど三十名が参加し、災害対応にむけたワークショップを行いました。

当日は、避難所が近い地域ごとに五つのグループを作り、地域防災の良い点、改善が必要な点について話し合いました。その結果、令和元年六月に発生した山形県沖地震の避難所での体験を踏まえ、高齢者の方の避難誘導の方法や、一次避難場所の設備改善について、特に多くの意見が挙げられました。

ワークショップでの意見をもとに、避難支援が必要な方を把握するための住民名簿の作成、災害の種別ごとに避難場所を記載した加茂地区独自の防災避難マップの作成などに取り組み、加茂地区ならではの災害対応について検討しています。

加茂地区の四つの自主防災会では、これまで防災について意見交換をする機会がなかったため、これを機に地域団体にも声を掛け、防災に強い地域づくりを行うこととしています。

災害対応にむけた

ワークショップ開催！

第六学区

学区の特徴 古くからある町内会と比較的新しくできた町内会が混在している。平成28年5月には、コミュニティ協議会、町内会長連絡協議会、学区社協が組織統合し、「第六学区コミュニティネットワーク」が誕生した。

人口 11,368人 世帯数 4,928世帯
(令和4年3月現在)

プラン① 空き家活用事業（みんな集まろうプロジェクト）

- ・交流居場所「はろ〜くらぶ」を活用した事業の展開

プラン② 介護予防、介護教室（みんな集まろうプロジェクト）

- ・ふれあい健康講座を実施し自らの健康づくりを積極的に行う

プラン③ ポイントGETで元気アップ（元気アッププロジェクト）

- ・「はろ〜くらぶ」利用のポイントカードを作成し交流を活発にする

プラン④ みんなで守る地域の安全（地域の安心、安全プロジェクト）

- ・防犯協会第六支部や交通安全協会第六支部と連携した活動の充実

プラン⑤ 災害に強い地域づくり（地域の安心、安全プロジェクト）

- ・避難所開設訓練を通じた意識高揚と学区住民の安否確認方法の検討

「はろ〜くらぶ」での活動開始！

だれでも参加できる自由な居場所・憩いの場を目指して空き家活用事業により「はろ〜くらぶ」を開設しました。

今年度は、さまざまな年代の人が楽しめることを目的に、火曜日と土曜日に缶バッジ作りや手話教室、カイトプラクティク教室などの活動を行っています。夏祭りの際には、学生や親子など多くの世代が参加し活気あふれる行事となりました。

行事がない日には貸館として利用することもでき、誰もがいつでも楽しめる・つながれる場所として事業を展開しています。



缶バッジづくり

「みんな集まろうプロジェクト」で世代間交流を目的に、鶴岡中央高校の生徒と共に活動を行っています。高校生が町内会のいきいきサロンや会食サービスに参加し、地域の方と交流しています。先日開催した会食交流会では、高校生が考えてくれたレクリエーションを行い、参加した皆さんは笑顔で楽しい時間を過ごしました。高校生にとっては地域の方と交流することで学ぶことも多く、福祉活動について気付きを得る機会となっています。

これからも、さまざまな企画で世代間交流の場を設け、地域のつながり作りに取り組みむこととしています。



中央高校生とのレクリエーション

鶴岡中央高校生との交流活動

共同募金にご協力をお願いします



お寄せいただいた募金は、誰もが地域で安心して暮らすことができるよう、地域のさまざまな取組に役立てられています。

子育て支援活動



居場所づくり



子ども食堂



募金



ボランティア活動



●運動期間
10月1日～
12月31日

●戸別募金お願い額
500円

赤い羽根募金と歳末たすけあい募金を合わせた一世帯あたりの目安額です。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

●地域・在宅福祉事業配分については10月初旬頃、対象団体に申請のご案内をします。

令和4年度「ふれあい福祉相談」のご案内

●常設相談（職員対応）

日常生活における困りごとなど福祉全般に関わる相談に、職員が面接・訪問・電話などさまざまな方法で応じるとともに、関係機関と連携を図りながら必要な支援を行います。

日 時：月～金曜日（祝日を除く）
午前8時30分～午後5時15分

場 所：各福祉センター
（問合せ先 ページ下段に記載）

●巡回弁護士相談（下半期10月～3月）無料・要予約

10月5日（水）10：00～15：00 鶴岡福祉センター
10月26日（水）10：00～15：00 鶴岡福祉センター
11月16日（水）10：00～15：00 鶴岡福祉センター
12月21日（水）10：00～15：00 鶴岡福祉センター
1月18日（水）10：00～15：00 鶴岡福祉センター
2月15日（水）10：00～15：00 鶴岡福祉センター
3月15日（水）10：00～15：00 鶴岡福祉センター

※相談は予約制となっており、各日程の1ヵ月前から予約を受け付けます。

※相談時間はお一人30分、相談料金は無料です。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
（令和4年7月1日から令和4年8月31日までのご寄付を掲載しています）

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

・鶴岡建設㈱ 親善ゴルフ大会 様 110,300円
・ボランティアサークル結美の会 様 4,200円

◎藤島福祉センターへ

・出羽商工会藤島支部女性部 様
衣類2点、食品類40点
・藤島カラオケ愛好会 様 20,000円

◎羽黒福祉センターへ

・匿名 様 乾麺6把、缶詰8個

◎鶴引福祉センターへ

・難波 優 様 チャイルドシート3台

◎朝日福祉センターへ

・出羽商工会朝日支所 役員一同 様 7,920円
・朝日身体障害者福祉協会 様 iPad Air 1台
・朝日手をつなぐ育成会 様 11,728円

★鶴岡市ボランティアセンターへ

・佐藤 久一 様 車椅子1台

★鶴岡福祉センターへ

・ベルナル鶴岡 様 椅子100脚
・アークベル鶴岡・ベルナル鶴岡 様 皿471枚

★鶴引福祉センターへ

・ラージボール卓球 チーム鶴岡メンバー一同 様
卓球台1台

★とようら老人デイサービスセンターへ

・小波渡婦人会 様 アイスコーヒー 24本
フェイスタオル、ウェス 70枚

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

・温海地域婦人会 様
タオル100枚、古布等10枚

★もみじが丘へ

・温海地域婦人会 様 タオル200枚

★訪問介護事業所へ

・匿名 様 35,000円

★学童保育所・放課後児童クラブへ

・佐藤 久一 様 サッカーボール10個

お詫びと
訂正

「おだがいさま第101号」の記載に誤りがありました。

・3ページ 第四学区の特徴 （誤）鍛冶町 （正）鍛冶町 黄金地区の特徴 （誤）金峰山 （正）金峯山
・4ページ 日本道路㈱日本海アスコン様からのご寄付 （誤）5,000円 （正）5,000円と災害備蓄用フリーズドライご飯9個
関係者の皆様にお詫びと訂正いたします。

おだがいさま

第102号

令和4年10月1日発行

発行部数 47,800部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号（にこふる2階）

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <https://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

鶴引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金配分金と社協会費を財源に発行しています。